

天橋立について AMANOHASHIDATE

天橋立は陸前(宮城県)の松島、安芸(広島県)の宮島と共に日本三景の一つに数えられる景勝地である。
 「丹後国風土記逸文」に、国を生まれた伊弉諾尊(いざなぎのみこと)が天に通うために梯(はし)を作られたが、命(みこと)が寝ていられる間に倒れ伏したという記事があり、これが名の起こりである。
 「日本三景」という発想が最初に見られるのは林春斎が寛永20年(1643)に天橋立を松島・厳島とともに「三処奇観たり」と述べた『日本国事跡考』。その後元禄2年(1689)に福岡藩の儒学者、貝原益軒が天橋立を旅行した記録『己巳紀行』の中に初めて「日本三景」という言葉が登場する。
 神秘的で美しい姿は、野田川から流れ出る砂粒と外海から流れ来る砂粒とがぶつかり合って出来たと考えられる。約500年前に描かれた雪舟画の国宝天橋立図には現在より短い天橋立が描かれている。

ノスタルジック天橋立(大正～昭和初期) NOSTALGIC



成相ケーブルカーより天橋立を望む 昔の飛龍観 傘松の山路を登下する籠車と天橋の遠望 人の力で廻していた頃の廻旋橋

イベント案内 EVENT

- 10月** 文殊堂十日ゑびす 商売繁盛と智恵を授かる日。
- 4月24日** 籠神社祭(府中祭り) 2500年の歴史を誇る丹後最古の祭り。
- 7月中旬** 天橋立・府中海水浴場海開き 2つの海水浴場で海開きの神事などが行われる。
- 7月中旬～8月下旬** 天橋立ちまち灯り 天橋立の砂浜を毎晩ライトアップ。期間中は様々なイベントを開催。
- 7月24日** 天橋立文殊堂「出船祭」 かがり火で彩られた廻旋橋の周辺で金銀の龍が舞う。
- 8月9日** 成相寺千日まいり この日、成相寺本尊に詣れば千日のご利益。
- 8月16日** 宮津燈籠流し花火大会 精霊船を囲むように流れる追っ掛け燈籠と、打ち上げ花火が見事。
- 10月中旬** 丹後きものまつりin天橋立 天橋立を会場にきものショーなどが行われる。
- 10月下旬** 日本三景天橋立ふゆ花火 冬の澄んだ空と天の架け橋に花火が舞い上がる。
- 11月初旬** 成相寺紅葉ライトアップ 成相寺境内の紅葉や、本堂・五重の塔などを幻想的にライトアップ。

京都より

- JR山陰本線・京都丹後鉄道宮福線経由 京都・福知山▶宮津・天橋立 約1時間40分
- JR山陰本線・JR舞鶴線・京都丹後鉄道宮舞線経由 京都▶綾部▶西舞鶴▶丹後由良▶宮津・天橋立 約2時間
- 京都縦貫自動車道 京都▶沓掛IC▶宮津天橋立IC▶宮津・天橋立 約1時間15分

大阪神戸より

- JR福知山線・京都丹後鉄道宮福線経由 大阪・神戸方面▶福知山▶宮津・天橋立 約2時間
- 中国自動車道・舞鶴若狭自動車道・京都縦貫自動車道 大阪・神戸方面▶吉川JCT▶綾部JCT▶宮津天橋立IC▶宮津・天橋立 約1時間40分

名古屋より

- 新幹線・JR山陰本線・京都丹後鉄道宮福線経由 名古屋方面▶京都▶福知山▶宮津・天橋立 約2時間30分～3時間
- 名神高速道路・京都縦貫自動車道 名古屋方面▶大山崎JCT▶宮津天橋立IC▶宮津・天橋立 約3時間20分

交通アクセス

ACCESS

元伊勢 籠神社 MAP E-10



国宝「海部氏系図」重文「神前狛犬」などを所蔵する丹後随一の格式のある古社。丹後一の宮。高欄上の五色の座玉は神宮とこちらにしか見られない。

丹後一の宮の狛犬 MAP F-11



社頭の狛犬二基は鎌倉時代の作。石造狛犬として日本一の名作との定評があり魔除の狛犬と云われる。重要文化財。

真名井神社 MAP C-11



籠神社の奥宮。主祭神は伊勢神宮と同体の豊受大神でこちらから伊勢に遷されたと伝えられる。地場エネルギーが高いとされ芸能人も多く訪れる格式ある古社。

傘松公園 MAP B-10



ケーブルカーまたはリフトで登る天橋立「股のぞき」の名所。股からのぞくと天地が逆さになり、天に架かる橋のように見える。

成相観音温泉



成相寺の身代わり観音様から授かったという霊験あらたかな湯。府中温泉組合の旅館の内湯で浸ることができる。泉質はアルカリ性単純泉。

成相寺 MAP B-7



西国28番札所として多くの参拝者が訪れる。悲話を伝える撞かすの鐘、底なし池、美人観音・聖観世音菩薩。しゃくなげの名所。

五重の塔 MAP C-7



平成12年、開基1300年を迎えるにあたり、雪舟筆「天橋立図」にも描かれた五重の塔を復元。平面は方三間、高さは百八尺(33m)

真向の龍 MAP B-7



「左基五郎」作と伝えられている。成相寺境内にあるほとんどの龍は横向きに作られているが、この龍は珍しく正面を向いている。

府立丹後郷土資料館 MAP E-5



丹後地域の貴重な歴史、民俗、考古の資料が展示、収蔵されている資料館。 開館/9:00～16:30 休館日/毎週月曜

丹後国分寺跡 MAP E-5



府中が国府として栄えた頃、天橋立を見下ろす高台に絶好の立地として建てられた国分寺の跡が残っている。

10月

文殊堂十日ゑびす 商売繁盛と智恵を授かる日。

4月24日

籠神社祭(府中祭り) 2500年の歴史を誇る丹後最古の祭り。

7月中旬

天橋立・府中海水浴場海開き 2つの海水浴場で海開きの神事などが行われる。

7月中旬～8月下旬

天橋立ちまち灯り 天橋立の砂浜を毎晩ライトアップ。期間中は様々なイベントを開催。

7月24日

天橋立文殊堂「出船祭」 かがり火で彩られた廻旋橋の周辺で金銀の龍が舞う。

8月9日

成相寺千日まいり この日、成相寺本尊に詣れば千日のご利益。

8月16日

宮津燈籠流し花火大会 精霊船を囲むように流れる追っ掛け燈籠と、打ち上げ花火が見事。

10月中旬

丹後きものまつりin天橋立 天橋立を会場にきものショーなどが行われる。

10月下旬

日本三景天橋立ふゆ花火 冬の澄んだ空と天の架け橋に花火が舞い上がる。

11月初旬

成相寺紅葉ライトアップ 成相寺境内の紅葉や、本堂・五重の塔などを幻想的にライトアップ。

智恵寺 MAP M-5



古代より知られる文殊菩薩の霊場で、日本三文殊の一つ。丹後地方最大の山門、国指定重要文化財の多宝塔をはじめ貴重な文化財が多い。

山門 MAP N-6



宝暦12年(1762)に着工、7年の歳月と大工延べ8,780人を要して再建された禅宗様式の山門である。丹後地方で最大規模を誇る。

はまなすの小径 MAP P-11



天橋立の南側、小天橋にはまなすの群生地が広がっている。見ごろは4月下旬～6月初旬、年によっては5月下旬まで。遊歩道も整備されており、散策コースとして人気がある。

与謝野寛・晶子ご夫妻歌碑 MAP M-9



近代を代表する歌人、与謝野晶子は夫の寛と共に幾度も天橋立を吟行した。平成18年に建立された夫妻の歌碑を天橋立内で見ることができる。

磯清水 MAP L-8



海に囲まれながら真水が湧き出る不思議な名水。「一口は げに 千金の磯清水」と俳句にも詠まれ、永く珍重されてきた。日本名水百選の一つ。

橋立明神 MAP L-8



正面は豊受大神、向かって左は大川大明神、右は八大龍王(海神)である。元伊勢を移したとの附説もあるが、文殊堂境内鎮守と考えられる。

岩見重太郎 MAP L-9・M-10



桃山時代の剣豪、岩見重太郎兼相は父の仇を追って宮津に入り、天橋立において本望をたげたと伝わる。試し斬りの石も残っている。

ビューランド展望台 MAP S-11



リフトやモノレールで海抜130mの山上へ。ここからの天橋立の眺望は龍が天に向かって昇っていくように見えることから「飛龍観」と呼ばれる。

桜山 MAP R-4



桃山時代の武将、細川幽齋が宮津城を築いた折に吉野の桜を植えたことに由来。天橋立眺望四大観の一つ。天橋立駅より徒歩10分。

あまのはしだて駅 MAP Q-6



天橋立観光の拠点となる駅。構内に観光案内所がある。駅前広場は、天橋立の「白砂青松」をイメージして作られている。

天橋立温泉 智恵の湯 MAP Q-7

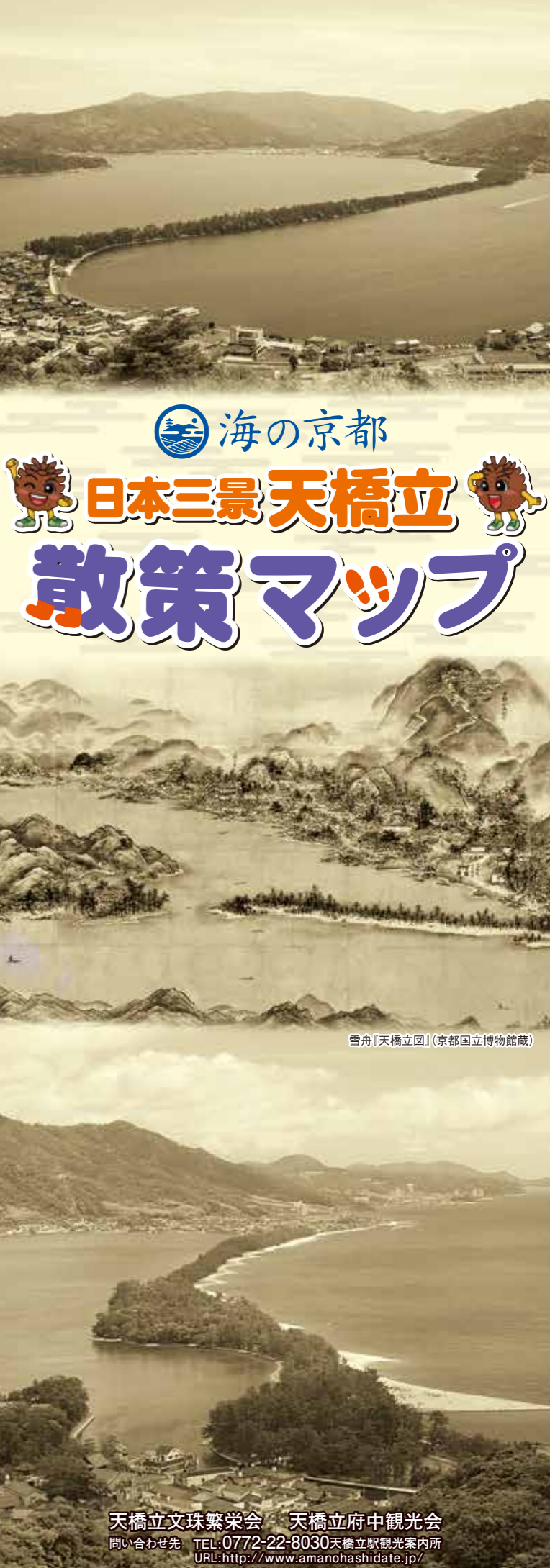


宮津唯一の外湯。智恵寺文殊菩薩の智恵と健康が授かるようにと命名された。入浴料/大人700円、子供350円 営業時間/12:00～22:00(各日入館は21:00まで) 休休日/毎週水曜日

涙ヶ磯・身投石 MAP R-12



涙ヶ磯は世阿弥の謡曲「丹後物狂」の舞台であり、屋島の源平合戦で敗れた平忠房の白拍子が捜索の目をくらますために身投げしたという悲話も伝わる。



海の京都 日本三景天橋立 散策マップ



雪舟「天橋立図」(京都国立博物館蔵)



天橋立文殊繁栄会 天橋立府中観光会
 問い合わせ先 TEL:0772-22-8030天橋立駅観光案内所
 URL:http://www.amanohashidate.jp/

